

十字町の歴史発信

書籍や古写真など数百点

小田原に新スポット誕生

小田原市中心部の一角で、かつて多くの著名人が暮らしていた旧十字町エリアの歴史について広く知ってもらおうと、地元商店街が3日、新たなスポット「十字町ヒストリア」をオープンする。空き店舗を活用し、周辺住民や観光客が集う場として、商店街の活性化につなげたい考えだ。

(佐々木 航哉)



3日にオープンし十字町界隈に居住した著名人を紹介する「十字町ヒストリア」
＝小田原市南町

運営するのは「お城南通り商店会」。同市南町の青果店だった空き店舗(約45平方メートル)を改装し、市史や関係書籍、古写真、地図など数百点の資料を並べる。昨年から準備を進め、市の補助金を活用しながら事業成させた。

3カ月ごとにテーマを変えて展示する予定で、初回は「十字町界隈に居住した著名人」。初代総理大臣の伊藤博文、柔道家の嘉納治五郎、元三越呉服店社長の

野崎廣太、詩人・歌人の北原白秋、海軍中将の秋山真之ら、明治期から昭和期にかけて小田原に自宅や別宅を構えた著名人約150人を紹介している。

地図で自宅などの場所を示しているほか、各著名人がどんな人物だったのかを、資料やパソコンを使って調べることができる。

来年1月以降は、近くに駅があった人車鉄道など小田原の鉄道の歴史、小田原の災害記録などをテーマに模様替える。

同商店会は1960年ころは100店舗近くが加盟していたが、マンションなども建設され現在は24店舗まで減少している。古書店

などをめぐって資料集めたり、奔走した金子不二夫会長(68)は「地域の歴史が地元でもあまり知られていない。お茶を飲みながら歴史や思い出を語れる場にした。市民や観光客が集まることで商店街の活性化につながればうれしい」と次な

る展開を模索している。

土・日曜のみ、午前10時から午後4時まで無料で開放する。今後は菓子とドリンクを有料で提供することも検討している。問い合わせは、金子会長(090)3103-1305。

神奈川新聞

2015年[平成27年]

10月3日[土]

仏滅

かながわ人 @小田原



お城南通り商店会会長
金子 不二夫(68)

まちの歴史探究に熱

「かつて著名人が多く暮らしていたと聞いてはいたけど、こんなにいるとは思わなかった。歴史をたどっていたらほまっちゃった」

1947年創業の電器店「ユニオン商会」の2代目。商店街の空き店舗を利用して、地元・十字町かいわいを中心に歴史をひもとくスポット「十字町ヒストリア」の開設準備を中心となって進めてきた。

展示スペースには、有名企業の創業者や旧長州藩士らの写真が並び、地元の歴史の奥深さが分かる。「知れば知るほど人脈や金脈がつながり興味深い」。趣味はもともと天体観測。小田原市南町。